

# 平成30年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」大館中学校区実践計画書

事務局 八戸市立新井田小学校（担当：教頭 鈴木 規夫）

## 1 主題（1年次）

『学習指導と生徒指導との充実をめざす小・中連携』

## 2 主題設定の理由

小学校から中学校までの9年間は、児童生徒が自立した人生を歩んでいくための力を身に付けるべき、人生の土台づくりの時期である。また、よりよい人間関係の育成と主体的な学習習慣の形成は、児童生徒が学校教育活動において、お互いの出会いを大切に、自ら学び、生きる力を身に付けていくための根幹を成す。

そこで、小学校から中学校までの児童生徒の成長を継続して見取り、指導していくことの重要性を改めて全教職員で確認するとともに、小・中学校間は勿論各学年間でのきめ細かい引継ぎや情報交換を行う必要がある。さらに、児童生徒の成長発達に応じた学習習慣を形成するための指導、思いやりや協調の気持ちを涵養し、自己肯定感を高めながら適切なコミュニケーションのとれる児童生徒を育成するための指導を一貫して取り組む必要があると考え、この主題を設定した。

以上のことから、上記主題に基づいて取り組んでいる。

## 3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織

| 委員会     | グループ     | 主 な 内 容   | 委 員   |
|---------|----------|---|---|
| 推進委員会   |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の方向性・体制づくり</li> <li>・主題、研究内容、組織の検討</li> <li>・計画、実践、評価等のまとめ</li> </ul> | 委員長<br>: 中学校長<br>副委員長<br>: 小学校長<br>委員<br>: 教頭<br>教務主任<br>研修主任 |
| 学習指導委員会 | 学力       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の実態把握（N R Tの結果を踏まえた課題把握と指導の重点の共通理解）</li> </ul>                        | 委員長・副委員長・教頭を除く全教員は、いずれかに所属する                                  |
|         | 家庭学習     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の実態把握、生活習慣の確立にむけての方策検討（N R Tの結果を踏まえた指導内容の共通理解）</li> </ul>           |   |
| 生徒指導委員会 | 不登校・問題行動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の不登校の実態についての情報交換</li> <li>・問題行動の情報交換と共通指導内容の情報交換</li> </ul>           |   |
|         | 特別支援     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の現状についての情報交換</li> <li>・指導についての共通理解</li> </ul>                         |   |

## 4 大館中学校区の重点指導項目

- (1) 気持ちのよい返事や挨拶をすることができる。
- (2) 人の話をしっかり聞くことができる。
- (3) 正しい言葉づかいではっきり話すことができる。
- (4) 学年に応じた家庭学習をすることができる。